

支援の共有化のための記録（ケース会議などの記録）

氏名	所属機関	記入日	相談メンバー（ケース会議参加メンバー）	次回開催予定
よこすか たろう 横須賀 太郎	〇〇養護学校 (中学部2年)	平成 29 年 〇月〇日 (〇)	〇〇養護学校 担任、支援教育コーディネーター △△放課後等デイサービス事業所 担当者 ◇◇移動支援事業所 担当者 □□相談支援事業所 担当相談支援専門員 ☆☆市 障害福祉担当ケースワーカー	平成 29 年 〇月頃 (3か月後)

1. 幸せの一番星（夢・希望） ◇ 利用者及びその家族の生活に対する意向（希望する生活） ◇
 平日は、大好きな電車に乗って、鉄道会社の特例子会社で働き、休日は、大好きな電車に乗って、小旅行を楽しむ生活を送り、家族と幸せに暮らす。

6. 近い将来（半年後又は1年後の姿）
 ◇ 長期目標 ◇
 〇〇養護学校の下校時（放課後等デイサービスを利用しない週3日）に、移動支援のヘルパーと一緒に、電車を使って自宅に帰ることができる。

2. ゴール（3年後の姿）
 ◇ 総合的な援助の方針 ◇
 公共の場でのルールを理解し、一人で、目的地まで、電車で移動することができる。

3. 今の姿（実態） (ゴールの姿と照らし合わせて、できること・まだ苦手なこと)	4. 必要な力 ◇ 解決すべき課題 ◇ (本人のニーズ)	5. 必要な人 (関係者) ◇ 担当者など ◇	7. はじめの一步 (まずはじめにすること) ◇ 短期目標 ◇
<ul style="list-style-type: none"> *電車に乗ろうと言うと、嫌なことを少しがまんできる。 *人と一緒に外出することが好き。 *絵カードによる指示の理解ができる。 *電車の中で、興奮して大声を出してしまうことが多い。 *外出時に、興味のあるものに色々と触ってしまう。 *自分一人では、電車を降りる駅が分からない。 *学校の登下校は、移動支援の車を利用している。 *少し長い距離だと、歩くことを嫌がる。 	<ul style="list-style-type: none"> *電車の中で、静かに、落ち着いて過ごすことができる *慣れたルートであれば、自分一人で目的地の駅で降りることができる。 *興味のあるものに触れないよう、がまんすることができる。 *少し長い距離を歩くことができる体力をつける。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇〇養護学校 △△放課後等デイサービス（週2日の利用。車による送迎を実施） ◇◇移動支援事業所（週5日の登校時と週3日の下校時に車による送迎を実施） □□相談支援事業所 ☆☆市 障害福祉担当者 保護者 	<ul style="list-style-type: none"> *駅までの移動、電車内での守るべきルールなど、支援のポイントを明確にする。 *校外学習の場で絵カードを使用し、ルールに従って乗車できるような学習を繰り返す。 *本人のストレスが溜まらないよう、できるだけ、本人が楽しめるようなカリキュラムを取り入れる。 *学校と電車内の移動場面での支援のポイントについて共有する。 *時間的な余裕のある休日等に、電車を利用した移動の練習を、絵カードを使用して行う。 *休日等に行う電車での移動の練習やストレス軽減のための余暇支援の充実のため、移動支援の時間数を増やす計画を作成する。 *電車での移動の練習など、総合的な援助の方針を理解し、移動支援の時間数を増やす支給決定を行う。 *学校や移動支援事業所と電車内の移動場面での支援のポイントについて共有する。 *時期を見て、休日等に、電車を利用した移動の練習を、絵カードを使用して行う。 *本人の頑張りをはめるとともに、家庭での本人の様子を、できるだけ関係者に伝えるよう努める。
<p>アピールポイント (いいところ・得意なこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> *電車に乗ることが大好きなこと。 *人と一緒にいるのが好きなこと。 *笑顔が素敵なこと。 			

その他の記録
 *電車での移動の練習により明らかになった課題については、学校が中心となって解決方法を検討し、学校での学習活動の中で解決していく。
 *次回のケース会議は、相談支援事業所の招集により、3か月後を目途に開催する。